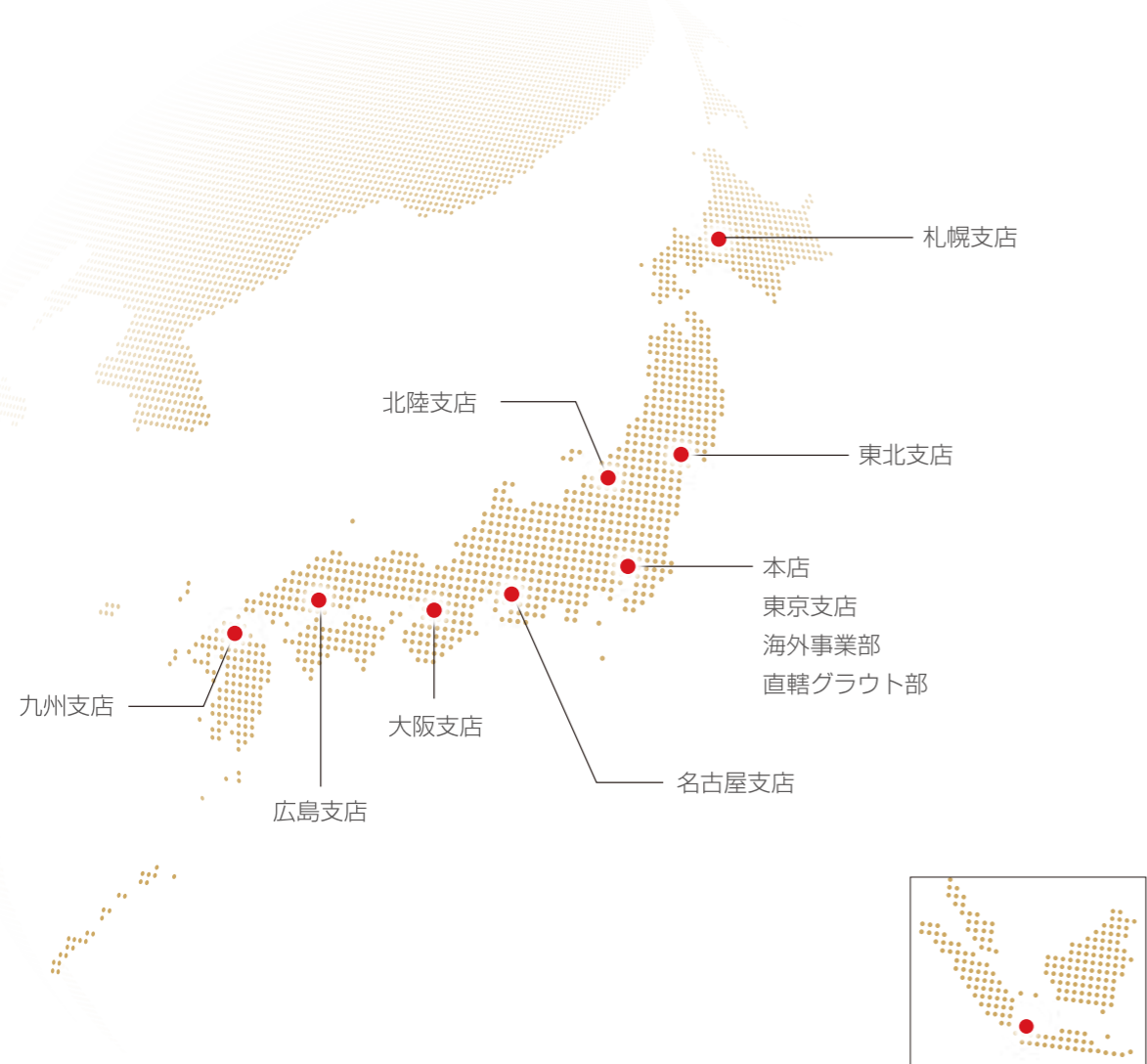


「守る」技術で、つながる、未来へ。



ジャカルタ駐在員事務所
(インドネシア共和国)

日特建設株式会社

事業本部 技術営業部

〒103-0004 東京都中央区東日本橋3-10-6
Daiwa東日本橋ビル5F

TEL:03-5645-5062

FAX:03-5645-5066

E-mail : mag@nittoc.co.jp



URL <https://www.nittoc.co.jp>

お問い合わせはこちらへ

2022.09

スロープセイバーの取扱注意事項

●スロープセイバーの施工に際しては、必ずスロープセイバー技術資料等をご確認ください。●使用材料および資機材清掃等で発生した水の廃棄については、必ず関係法規に従ってください。●ここに記載された事項は、標準的な試験法に準拠した弊社の実験データに基づいたものです。●商品改良のため、予告なく仕様の一部を変更する場合があります。

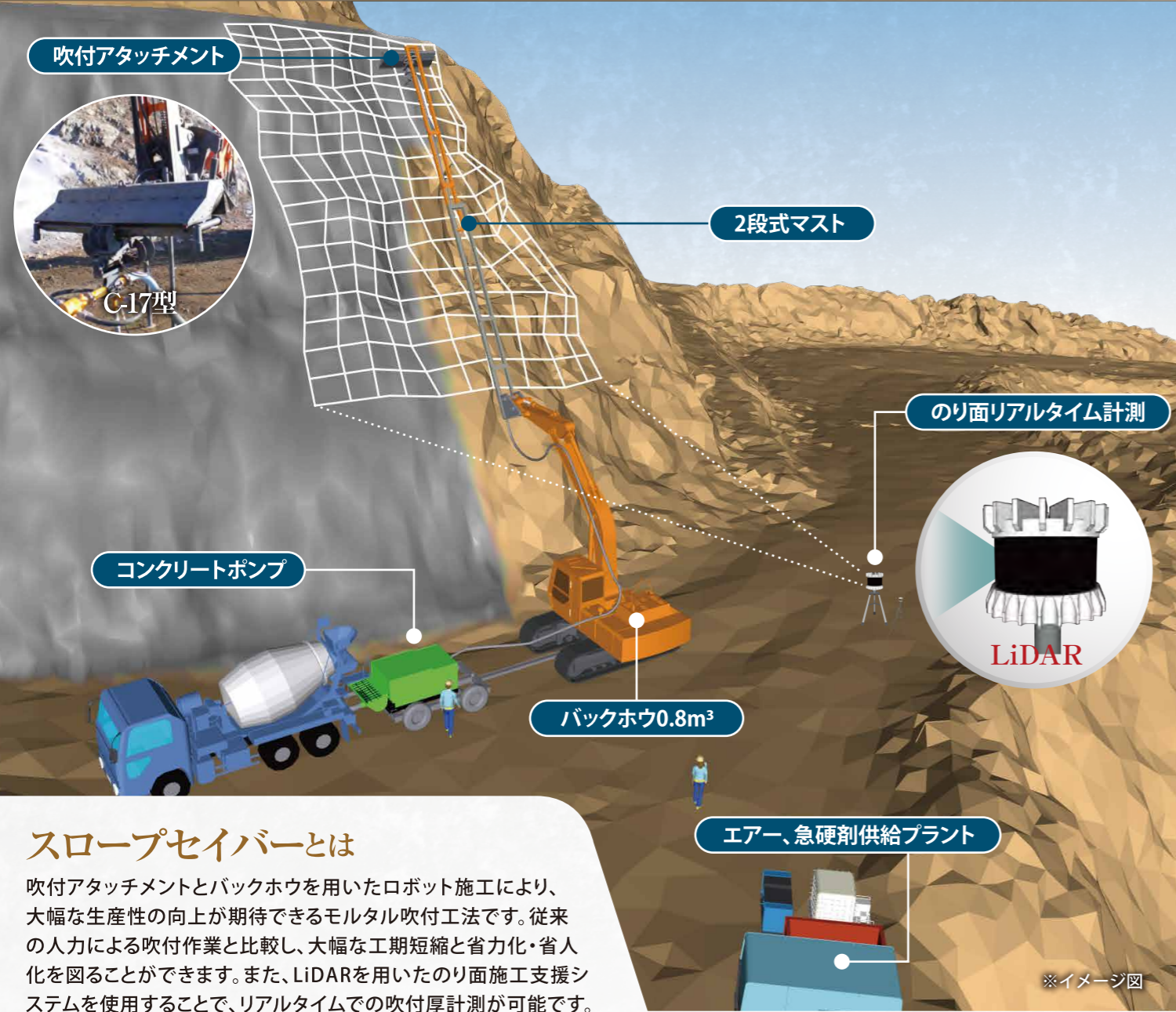
のり面省力化吹付工法

スロープセイバー™

Slope Savior

NETIS No.KT-220070-A





スロープセイバーとは

吹付アタッチメントとバックホウを用いたロボット施工により、大幅な生産性の向上が期待できるモルタル吹付工法です。従来の人力による吹付作業と比較し、大幅な工期短縮と省力化・省人化を図ることができます。また、LiDARを用いたのり面施工支援システムを使用することで、リアルタイムでの吹付厚計測が可能です。

特徴

40~70%の工期短縮※1

○大容量コンクリートポンプを使用することで、人力施工の約3~5倍の吹付施工能力となり、大幅な工期短縮を実現できます。

50~80%の省人化※2

○機械化とICTを用いた集中操作で、吹付中の施工人員は4人となります。工期短縮の効果も相まって大幅な省人化が実現されます。

大規模のり面や災害現場への適用が有効

※1、2 所定条件下での試算結果であり、現場状況により結果が大きく異なる場合があります。

吹付ロボットによる施工で 人力吹付作業 0

○人力による吹付作業がゼロとなり、吹付作業の省力化、安全性の向上が図れます。

2段のり面 までの施工が可能

○直高で約17m以下、勾配約45°以上ののり面に適用が可能です (C-17型)。

材料供給は生モルタルを用いた ポンプ圧送方式

○工場練りモルタルを使用することで、現場練りモルタルよりも品質が安定することに加え、必要なプラントが少なくなります。

LiDARを用いた リアルタイム吹付厚計測

○LiDARを用いてリアルタイムでの吹付厚測定が可能です。



LiDAR 計測画面



LiDAR 計測状況

LiDAR (light detection and ranging: 光による検知と測距) は、電波に比べ高精度で位置や形状などを検知できる技術です。



吹付アタッチメント
C-08型 (低所用)
 H=8mまで勾配制限無し

吹付アタッチメント
C-17型 (高所用)
 H=17mまで45°以上ののり面